

科目区分	基礎科目	科目名	生活とアート		科目コード	19S100	担当者	織田 芳人			
対象学生	栄養士コース 1年生		学期区分	前期	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択必修				
						免許・資格要件					
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
日常生活の中で接している様々な美術をより深く理解する。						1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・ 真摯性	② 多様性・ 協働性	③ 知識・ 技能	④ 表思考・ 創造力	⑤ 主体性・ 自立性	⑥ 就業力・ 貢献力
1.	美術に関する基礎的な知識を身につけて、様々な美術の基本的概念を理解することができる。										
2.	生活の中に見出される様々な美術を再認識することによって、美術の理解を深める。										
3.											
4.							○	◎	◎	△	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						提出物（40%） 定期試験（40%） 受講態度（20%）					
スライドとプリントを適宜使用しながら授業を行う。 各回の終わりに所定用紙で感想、意見等を提出してもらい、必要に応じて次回に追加説明する。											
課題等への対応						授業外学修時間					
各回の終わりに提出した所定用紙を次回の始めに返却する。						各回の予習または復習に30分をあてる					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	授業計画の説明、人類の出現と美術					古代文明発生の地域をまとめる					
第2回	古代オリエント世界の美術					メソポタミアについて調べる（予習）					
第3回	古代ギリシア・ローマの美術					アレクサンドロス大王について調べる（予習）					
第4回	古代インド・東南アジアの美術					ヒンドゥー教について調べる（予習）					
第5回	古代中国の美術					秦の始皇帝について調べる（予習）					
第6回	中世東アジアの美術					詩人の杜甫について調べる（予習）					
第7回	中世イスラム世界の美術					ムハンマドについて調べる（予習）					
第8回	中世ヨーロッパの美術					ミケランジェロまたはレオナルド・ダ・ヴィンチについて調べる（予習）					
第9回	近世ヨーロッパの美術					フランス革命について調べる（予習）					
第10回	19世紀ヨーロッパの美術と工芸					イギリスの産業革命について調べる（予習）					
第11回	ジャポニスム					画家のゴッホまたはゴーガンについて調べる（予習）					
第12回	20世紀ヨーロッパの美術と工芸					T型フォードについて調べる（予習）					
第13回	美術と錯視					版画家エッシャーについて調べる（予習）					
第14回	美術とデザイン					ピクトグラムについて調べる（予習）					
第15回	現代美術と科学技術					科学技術を利用した現代美術についてまとめる					
試験	定期試験を実施する										
教科書	なし				受講生への メッセージ	・予習を心がけてください。講義内容がよりいっそう理解しやすくなります。					
参考書等	高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』美術出版社、前田耕作監修『カラー版東洋美術史』美術出版社										